

(仮称)校舎運営委員会

十一月十一日、これからの校舎運営についての準備会があり、運営委員会が立ち上がりました。決定したのは次の事項です。(詳しくは各区長より報告)

・運営委員会は、美作市の運営方法が決まるまでの間、当面の運営について協議していく。

・今後、校舎に関わる会計は、「農産加工室会計」とする。

・「餅つき」に関する会計は、村創りの会、農水部と女性部、生活交流グループで協議し運営委員会に提案し、運営委員会で決定する。

・「味噌づくり」「調理室の使用」については従来通りとし、事務局を中心に調整して使用していく。



運営委員名簿
平成27年12月12日

会長	原知行
副会長	森本利美
委員	安東寿夫
委員	松井昇彦
委員	山本雅彦
委員	池田篤子
委員	梅澤朋子
委員	内藤三子
委員	南坂薫
委員	神田正治
委員	安東章治
委員	鳥形初美
委員	有友一正
委員	永谷義弘
委員	(スポーツ振興会)
委員	(女性部)

*当て職です。兼務されている方もおられます。兼務が解ければその分人数が増えます。

■冬場のストーブの使用について
教育委員会より、灯油の補給がありました。冬場の校舎使用でストーブが使用できるようになりました。灯油の補給方法などについては、最寄りの区長に相談して下さい。使用上の注意は厳守して多量に活用して下さい。

◆図書室の使用
図書室の使用について、開設日や図書の貸し出し方法など、粟井子供会、シャボン玉クラブを中心に検討中です。決定すれば区長より各区へお知らせします。みんなで有意義に、かつ大切に使用していきたいものです。休み中の親子教室なども企画検討中です。お問い合わせは、子供会会長・永谷義弘様まで。

◆パンコン室の使用
現在、定期的にパンコン教室(代表者 鳥形初美様)が開催されています。始めてみようと思われる方は、鳥形様に問い合わせ下さい。

栄養委員&シャボン玉クラブ 「シャボン玉企画」

十一月二十九日(日)、能登香の家で栄養委員全員とシャボン玉クラブ30人で餅つきをしました。今年で5回目です。



栄養委員がシャボン玉クラブの子供たちに食の大切さを教えるような事が一緒にできないだろうか。小さな子供たちなので出来ることは限られているが何かやりたいと始まった企画です。最初の年は、お雛祭り会をしました。ちらし寿司などを一緒に作りました。翌年は、クリスマス会。食に関係する紙芝居を読んでもらったり、サンタクロースも登場してプレゼントをくれました。次の年は、またお雛祭り会。ちらし寿司、草団子の作り方を内藤三佐子さんが教えて下さいました。粟井の若いお母さんへ伝統のちらし寿司の作り方を伝授してもらいました。次の年は、餅つき。杵と臼での餅つきに、子供たちは大喜びでした。お母さんたちも初めての杵と臼で新鮮でした。そして、今年の好評だった餅つきを、再度餅つきをしました。

餅つきの目的は昔ながらの餅の作り方を教えてもらう食育。あんこもち、きなこもち、おにぎり、お汁をいただきました。「会長・山本末実」



第二回・見守り会議

十一月十八日、粟井小学校2階、多目的ホール(大会議室)で、粟井地区社会福祉協議会の「第二回見守り会議」と「第三回福祉会議」が開催されました。

見守り会議は「おたがいさまネットワーク」事業による粟井地区での見守りの様子について、5地区の老人会長、区長、民生委員、社協役員、ふれあい訪問員等が地区毎に共通理解を図り、全体でも報告しました。

福祉会議は、粟井地区の生活・福祉課題について、今年の反省と来年度の事業について協議しました。来年度の「能登香の里粟井村 第三回 ふれあいの集い」は、平成28年6月12日(日)の開催が決まっています。(社協だよりの記事)



中山間地域等活性化応援事業

粟井地区村創りの会

◆ハード事業
十一月三十日(月)作東老人福祉センターにあった備品を粟井小学校の加工室に移動しました。地域おこし協力隊3名がやってくれました。十一月一日には業者より資材が搬入されました。2階調理室には大型エアコン、大型冷蔵庫、ガスオーブン等も入りました。1階には餅つき機一式(手前よりボイラー、洗米機、餅つき機、餅切り機、奥が真空パック包装機等)がはいりました。味噌作りの部屋も一新しました。完成予定は十一月十五日です。



☆十一月十七日：代表者説明会
☆十一月二十日(日)：女性部餅つき試運転
多数の方の参加をお願いします。(9時)

◆ソフト事業

美作市企画情報課と「みんなの集落研究所」の阿部さん、河上さん、イタリアンシエラの寺田さん、村創りの会女性部を中心に進めてきた「粟井村ブランド」を象徴するシール、ラベルづくり。十一月二十九日の第五回協議会で案が決まりました。これからは、新しくできた加工室で作る加工品全てに使用されます。使用料等は未定です。シールは品目ごとに新たに作ります。六次産業化を目指しています。

◆コンセプト・地元の食材を使用しています。
◆みんなで工夫しました。
◆楽しい仲間が集って作りました。
◆豊作の色が基調です。
【デザイン】 赤星賢太郎



◆各部で事業を分担することになりました。

- 三年間の共生対流事業、3年目が終わります。それに伴い、村創りの会の組織の位置づけや、村創りの会の行事の位置づけが変わります。最終決定は次の理事会になります。各担当の行事等は次の通りです。
 - ▽農林水産部……田植え祭り、「粟井農地保全センター」農産加工室
 - ▽教育部……「こたご祭り」、地域文化伝承事業(4事業)
 - ▽観光部……収穫祭
 - ▽福祉部……「高齢者支援サポートセンター」
 - ▽女性部……農産加工室関係、「能登香の里小房」の買い等
- また、事務局の縮小により、各所で事務・会計を分担して行います。全体事務・会計は最小限にとどめます。
- 「ふるあいの集い」は「お餅」はJA粟井店舗での販売も検討します。